

2005年に保育付きのゴスペルサークル、「清瀬ゴスペル」を発足。現在は30名を超えるメンバーと活動する傍ら、「清瀬みんなの防災ネット」の立ち上げに参加し、活動の幅を広げる今中さんに、保育付きにこだわった理由、活動を通じての思いなど、お話を伺いました。

●清瀬ゴスペルをはじめたきっかけ

音楽大学を卒業後、音楽関係の仕事をしていました。結婚し子どもが生まれてからは、今までのキャリアを離れ、子育て中心の生活に。仕事をしたくても、時間が不規則な音楽の仕事では保育園入園を断られ、一旦音楽とは全く異なる仕事に就きました。

しかし、清瀬への引っ越しを機に、新座市のゴスペルサークルをサポートするようにになりました。そんな時、清瀬市主催のゴスペル講座の講師として関わり、受講された方からサークルを作りたいという相談を受けました。

私自身が40歳になり、子どもが小学生になって少し手が離れたことから、『何かをやるなら今だ』と考え、サークルを立ち上げることにしました。やるからにはしっかりやりたいと思い、自分の経験も踏まえて子育て世代の方が参加できるように、友人の活動を参考に、保育付きのサークル設立に向けて動き出しました。

●苦労したこと

やはり立ち上げが一番苦労しました。保育に必要な床マットを買うなど、



ママにも輝ける場を

清瀬ゴスペル 今中真琴さん

環境面を整えることも必要でした。また、保育料も利用メンバーへの負担を考え、1回500円以内に収めたいと思ひ、さまざまな人や団体に相談し、協力していただきました。本当に周囲の方々の協力があったからこそだと思います。

●活動を通して感じたこと、喜び

音楽や歌を通して、女性が普段の生活からちよつと離れたところで輝ける場を提供できたこと、それが一番の喜

びです。子育て中には、生活の中心が子どもになってしまいがちです。もちろん子育ても仕事も家庭も全部大事。でも自分が好きな音楽を通じて仲間ができ、ハーモニーの美しさを感じながら、生き生きと活動できる。これもとても大切なことですね。

サークルメンバーの中には、仕事に復帰して卒業される方もいらっしゃいます。寂しくもありますが、社会で活躍するメンバーをみると、嬉しく、応援したい気持ちになります。

●今後の思い、メッセージ

子育て期間のブランクが、マイナスにならないと胸をはって言えるような社会になるといいですね。

子どもは男女関係なく、社会みんな育てる社会の宝。そんな世の中になつてほしいと思います。

結婚や出産によって仕事をいったん辞めると、自分に自信がなくなり、復帰したいと思つても、不安になりますよね。そんな人たちに「やれる、頑張つて！」とエールを送りたいです。努力が必要、でも少しの勇気と周囲の協力があれば、できないことはないと思います。ぜひ女性の皆さんに、キャリアを生かして活躍していただきたいです。



サークル名：清瀬ゴスペル
活動日：毎週金曜日 10時～12時
活動場所：清瀬市中里地域市民センター
関連リンク
(<http://www.geocities.jp/kiyosegospel/index.html>)

(インタビューを終えて)

子育て中の私自身が、今中さんのお話から勇気と元気をもらい、一歩踏み出すパワーをいただきました。

(インタビュー 佐野)